青森県報

号外第六十二号

令和七年
七月二日
(水曜日)

目 次

公 営 企 業

○青森県病院局職員就業規程の一部を改正する規程……………(病院局) ……一

公 営 企 業

青森県病院局職員就業規程の一部を改正する規程をここに公布する。

令和七年七月二日

青森県病院事業管理者 大 山 力

青森県病院事業管理規程第八号

青森県病院局職員就業規程の一部を改正する規程

青森県病院局職員就業規程(平成十九年三月青森県病院事業管理規程第七号)の一部を次のように改正する。

第二十二條第十項中「、始業の時刻から連続し、又は終業の時刻まで連続した」を削る。

第二十二條の二第四項を次のように改める。

4 第二十六條の三第二項第一号に掲げる範囲内で請求する部分休業の承認を受けて勤務しない時間又は労働基準法第六十七條第一項の育児時間がある日の介護時間については、一日につき二時間から当該部分休業の承認を受けて勤務しない時間及び当該育児時間を減じた時間を超えない範囲内の時間とする。

第二十六條の三中「(非常勤職員にあっては、三歳)」を削り、「一部」を「全部又は一部」に改め、同条に次の三項を加える。

2 前項の規定による部分休業の承認の請求をしようとする職員は、毎年四月一日から翌年三月三十一日までの期間ごとに、あらかじめ、次の各号に掲げる範囲内のうちいずれの範囲内で当該期間における部分休業の承認を請求するかを管理者に申し出るものとする。

一 一日につき二時間を超えない範囲内

二 一年につき次に掲げる職員の区分に応じ、それぞれ次に定める時間を超えない範囲内

範囲内

ア 非常勤職員以外の職員 七十七時間三十分

イ 非常勤職員 当該非常勤職員の勤務日一日当たりの勤務時間数に十を乗じて得た時間

3 前項の規定による申出をした職員は、配偶者が負傷又は疾病により入院したと、配偶者と別居したことその他の当該申出時に予測することができなかった事実が生じたことによりこの項の規定による変更をしなければ当該職員の小学校就学の始期に達するまでの子の養育に著しい支障が生ずることとなった場合に限り、当該申出の内容を変更することができる。

4 第二項の規定による申出をした職員は、当該申出をした範囲内(前項の規定による変更をした場合にあつては、その変更後のもの)において、第一項の規定による部分休業の承認の請求をすることができる。

第四十二條第七項中「第二十六條の三」を「第二十六條の三第一項」に改め、「ときは」の下に「、あらかじめ部分休業(変更)申出書(第十一号様式)により管理者に申出(同条第三項の規定により当該申出の内容を変更する場合にあつては、変更の申出)をし」を加え、「第十一号様式」を「第十一号様式の二」に改める。

第十一号様式を次のように改める。

第11号様式 (第42条関係)

年 月 日

青森県病院事業管理者 殿

所 属
職氏名

部 分 休 業 (変 更) 申 出 書

部分休業の承認を請求したいので、下記のとおり (申出の内容変更を) 申し出ます。

記

1 申出対象期間	年度			
	氏 名			
2 請求に係る子	続 柄 等			
	生 年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
3 (変更後の) 申出の内容	☐ 第一号部分休業 (1日に2時間を超えない範囲内) ☐ 第二号部分休業 (1年につき10日相当の時間を超えない範囲内)			
	4 変更年月日	年 月 日		
5 変更が必要な 事情				
6 備 考				

- 注 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。
- 2 請求に係る子の氏名、請求者との続柄等及び生年月日を証明する書類 (医師又は助産師が発行する出生 (産) 証明書、母子健康手帳の出生届出済証明書、官公署が発行する出生届受理証明書などのいずれか。写しでも可) を添付すること。
- 3 該当する□には、レ印を記入すること。

第十一号様式の次に次の二様式を加える。

第11号様式の2 (第42条関係)

(その1) 第1号部分休業の承認に係る請求の場合 (表)

年 月 日

青森県病院事業管理者 殿

所 属
職氏名

部 分 休 業 承 認 請 求 書

下記のとおり部分休業の承認を請求します。

記

1 請求に係る子	氏 名			
	続 柄 等			
2 請 求 期 間	生 年 月 日	年 月 日	年 月 日	時 間
	年 月 日	年 月 日	年 月 日	時 間
3 備 考	年 月 日から	年 月 日まで	年 月 日まで	時 分 から 時 分 まで
	年 月 日から	年 月 日まで	年 月 日まで	時 分 から 時 分 まで

- 注 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。
- 2 部分休業の承認の取消しを申請する場合は、裏面に記入すること。
- 3 該当する□には、レ印を記入すること。